

「男の仕事？女の仕事？」
- 教師用ガイドブック -

はじめに

- ・この單元では、男女の区別なく仕事をしているところに視点を置いてジェンダーフリーの人権感覚を身につけることがねらいですので、子どもがどれだけ興味を持って取り組むかということがポイントとなります。そこで、できるだけ子どもの持っている概念を壊せるあっと驚くような仕事を最初の導入で提示して引きつけることが重要となります。
- ・インタビューする場合には十分注意して、仕事のじゃまにならないように事前に打ち合わせしておくことが大切です。子どもたちにも事前に指導をしっかりとっておきましょう。
- ・この單元では、インターネットの仕方やデジタルカメラの使い方などは、学んだ上での構成となっています。もしも、まだ学んでいない場合は、これを機会に別の時間をもうけてスキルの時間をとることをお勧めします。
- ・調べ活動においては、できるだけ子どもたちの意志決定を尊重し教師は最低限の支援だけにしておきたいものです。どうしても、行き詰まる子どもには、教師が事前に調べたものからヒントとなるような支援が望ましいです。
- ・この後の発展学習として、自分たちの生活の中を振り返り、男女差別について話し合うのもいいでしょう。
- ・できるだけ、子どもたちに情報の収集の手段を目的に合わせて選択させます。教師があまりお膳立てしないようにします。
- ・情報を収集した後の、活用方法を子どもたちがどれだけ意識して考えられるかも重要なポイントです。

各ステップにおける留意点

STEP 1 男の仕事、女の仕事ってある？

今までの生活経験から男の人の仕事、女の人の仕事を発表し合う。

- ・ここでとりあげる仕事では、男の人がしていることが多いとか、女の人がしていることが多いなどといった発問で引き出していく。
- ・教師があらかじめ調べておいて、子どもたちの実態に合わせて、導入ではどの職業が子どもたちの概念を壊すかを考えておくとういでしょう。そうすると、子どもたちの「調べてみたい」という意欲が増し、この後の調べ活動に、子どもたちの意識が切れることなく続いていきます。

看護師の写真を見て、女の人の仕事だと思ってきたものがそうではないようになってきたことを知る。

- ・看護師以外の職業でも、子どもたちを引きつけるものだったらどんな導入例でもかまわないと思います。例えば、サッカーの国際審判だとか、新幹線の運転士だとか、子どもたちが日頃から興味を持っている分野があればその分野の職業を例に出すといいと思います。いかに子どもたちの興味を引きつけるかがこの時間の重要なポイントです。
- ・事前に、子どもたちにアンケートを採って、どんな仕事に興味があるのかを把握しておくのもいいでしょう。
- ・提示するときはできるだけ、大きなものを用意しカラーコピーなどを使うといいでしょう。

う。また提示の仕方として、クイズ形式などを用いて、「さてどんな仕事でしょう？」等と興味を引きつけることもやってみてもいいかもしれません。

STEP 2 男女の区別がなくなってきた仕事は何だ？

男女の区別がなくなってきた仕事を調べる計画を立てる。

・調べる方法を、子どもたちに教師から提示するのではなく、子どもたちで考えさせるようにすることが望ましいです。社会科や国語科などで調べてきた方法を想起させて子どもたちに決定させましょう。また、グループごとに話し合わせて考えさせるのもあまり考えつかない子どもには有効でしょう。

・自分たちで調べたい方法により、グルーピングすると互いに教え合いなどの活動が活発になります。

計画に従い、様々な情報を集め、自分たちの方法で調べ活動を行う。

・役場や役所などに電話で聞きたいグループなどがいた場合は、事前に教師が頼んでおくとうまいと思います。また、手紙や電子メールなどで調べる場合も、送る前には教師が目を通して失礼に当たらないかどうかチェックしておく必要があります。

・インターネットで調べる場合に、ホームを検索エンジンにしておくとうまいと思います。または、新聞社のWEBにしておくこともいいと思います。

・あらかじめ教師がインターネットで調べておき、URLを控えておいて、どうしても調べられないときにはそのURLを教えてあげてもいいでしょう。

・それぞれの情報収集方法により、グループによってばらつきがあるかもしれませんが次のステップで交流するので、他の収集方法に興味を湧くと思います。学び方を学ぶ点で重要です。

STEP 3 インタビューしてみよう！！

自分たちの住んでいるところに、もしくは身の回りにそのような人がいないか探す。

・一番考えられるのは、やはり、保育士の方とか駅員さん、看護師の方がどこにもおられるのではないかと思います。これも、教師の方でどんな方がおられるのか事前にチェックしておく必要があります。

・インタビューする人と連絡を取る場合、教師からの事前連絡をしておくとうまいでしょう。

・子どもたちで、ありそうな職業を考えさせることで、地域にも目がいくと思われれます。そこで、身近に男女のジェンダーフリーを考えることができるでしょう。

インタビューの内容を考える。

・できるだけ子どもたちに任せて、考えさせましょう。グループで相談してどんな記録媒体を使うのか、誰が使うのか役割をはっきりと決めさせておきましょう。インタビューのリハーサルなどもしておくとうまいでしょう。

・何を聞きに行くのか、自分たちの目的意識をはっきりさせるために、ワークシートにしっかりと書かせておきましょう。

・挨拶などもしっかりとできるようにしておきましょう。

インタビューに出かけよう！！

・いくつかの場所に分かれるかもしれないので、あいている教師か、保護者の人の協力を頼んでおいて、引率に来てもらいましょう。子どもたちだけでいくことは、安全の配慮が欠けると思われるので引率はつけましょう。

・記録媒体は、学校で足りないものは、子どもたちの家庭にあるものを使っても良いでしょう。ただそのときは必ず保護者の了解を得ておく必要があります。

・どの記録媒体を使うかは、子どもたちの目的に合わせて選択させましょう。ただ物珍しさなどに目がいかないように注意します。記録した後の活用方法をよく考えさせるようにしておくことも大切です。

STEP 4 インタビューしてきたことや、今まで調べたことを表現しよう！！

インタビューしてきたことや今まで調べたことについての写真や新聞記事、インターネットの資料などを使ってわかりやすくまとめる。

・他のグループにわかりやすいようにレイアウトなどに工夫をさせましょう。OHPの発表でもかまわないし、新聞などの方法でもかまわないし、電子新聞などの形でもかまわないので、様々な形での表現方法があることを知らせましょう。その中で子どもたちが興味を持ったやり方で表現させましょう。

・できあがったグループには発表の練習をさせましょう。

調べたこと、インタビューして分かったことなどをグループごとに発表する。

・それぞれの発表に対して、疑問や意見などの時間をとるとよいでしょう。

・それぞれのグループが発信したものから、自分の男女参画に関する事を考え討論会を開くことで、考えを交流させる。